

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	菌血症の診断におけるプロカルシトニンの有用性についての検討
研究責任者	上田晃弘
研究機関名	日本赤十字社医療センター感染症科
研究目的と意義	血液培養は重篤な感染症である菌血症の診断に必須の検査ですが、結果の判明に時間がかかります。血液検査で調べられるプロカルシトニンは市中肺炎などの感染症の診断に有用とする研究が複数報告されており、菌血症の早期診断においても有用な検査になる可能性があります。この研究では菌血症例と非菌血症例におけるプロカルシトニン値を検討し、プロカルシトニンが菌血症の診断に有用かどうかを検討します。また、これまで感染症の診断の参考として用いられてきたCRPと比較することにより、プロカルシトニンの有用性を検討することを目的とします。もしプロカルシトニンにより菌血症の早期診断が可能となれば、より早期に適切な治療を開始することができ、予後の改善に寄与する可能性があるものと思われれます。
研究方法	2013年1月から2018年12月までの期間に当センターで血液培養が採取され、かつプロカルシトニンとCRPが同日に測定された症例について過去の検査データを見直し、プロカルシトニンとCRPが、それぞれ血液から菌が検出された患者さんをどれくらい適切に診断できるかを算出し、比較します。この際、血液から検出された菌の名前と血液検査の結果は調査しますが、患者さんを特定できるような情報は使用しません。この研究で個人が特定されることはなく、研究に参加を希望されない場合でも診療に不利益はありません。もし研究への参加を希望されない場合は以下までご連絡ください。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 感染症科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：上田晃弘 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604